

株式会社エクストランス

# X-MON3

エスカレーション設定マニュアル

## まえがき

本書は ver3.9.0 以降の X-MON を用いてホストやサービスの障害時に通知を行う設定を登録するリファレンスとなっております。

そのため、基本的な OS や GUI の一般的な操作、ホストやサービス、ユーザの設定などについてはご理解の上でお読みください。

また、X-MON の操作画面はお使いの OS やブラウザによって異なる場合がございます。

本書における解説環境

X-MON ver3.9.0

X-MON の入門リファレンスや監視エージェント導入、Windows サーバの監視方法など本書以外のマニュアルについては X-MON サポートページにログインしてご確認ください。

<https://x-mon.jp/support/>

2019 年 09 月

改訂履歴
2019 年 09 月 初版

Copyright © 2004-2019 X-TRANS, Inc. All Rights Reserved.

## 内容

まえがき .....	1
1 エスカレーション設定とは.....	4
2 エスカレーション設定の登録.....	5
2.1 エスカレーション設定画面への遷移 .....	6
2.2 ホストのエスカレーション設定 .....	7
2.2.1 全てのホストを対象とした設定の追加 .....	8
2.2.2 特定のホストやグループを対象とした設定の追加 .....	10
2.3 サービスのエスカレーション設定 .....	13
2.3.1 全てのサービスを対象とした設定の追加 .....	14
2.3.2 特定のホストやグループに所属するサービスを対象とした設定の追加 .....	16
3 エスカレーション設定の確認.....	18
3.1 エスカレーション設定の確認.....	18
3.2 エスカレーション設定の絞り込み .....	21
3.2.1 ホスト・サービス検索 .....	21
3.2.2 エスカレーション条件での絞り込み .....	22
3.3 エスカレーション設定の編集.....	23
3.4 エスカレーション設定の削除.....	24
3.4.1 単一のエスカレーションを削除する場合 .....	24
3.4.2 複数のエスカレーションを削除する場合 .....	24
3.5 エスカレーション対象一括編集.....	25
4 エスカレーション履歴の確認.....	27
4.1 障害状況の確認 .....	27
4.2 通知履歴.....	28
5 監視パッケージへの関連付け.....	29
5.1 ホストの監視パッケージ作成.....	29
5.2 監視パッケージエスカレーション設定の確認.....	31
5.3 監視パッケージエスカレーション設定の変更.....	32
5.4 監視パッケージのホストへの適用 .....	35
6 前バージョンからの変更点.....	37

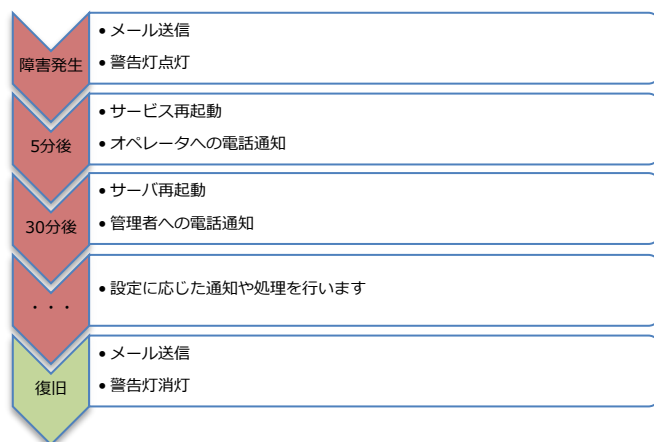
6.1	アップデート直後のエスカレーション設定について .....	37
6.2	削除された機能について .....	38
6.2.1	通知先グループ・通知詳細設定 .....	38
6.2.2	イベントログからの通知履歴ログ .....	38
6.2.3	CSV エスカレーション設定一括変更 .....	38
6.3	アップデート直後で数多くのエスカレーション設定が登録されている場合 .....	39
6.3.1	ホストグループの作成 .....	39
6.3.2	エスカレーション対象の集約 .....	40
6.3.3	不要なエスカレーション設定の削除 .....	43
7	付録 .....	45
7.1	用語集 .....	45

## 1 エスカレーション設定とは

ホストまたはサービスに障害が発生した際に行う通知を、障害ステータス別や経過時間などで設定できる機能です。

設定されたエスカレーションは障害発生と同時に動き始め、障害が復旧するまで行われます。

図 エスカレーション設定例



ver3.8.0 以前の X-MON をご使用されていたお客様は、エスカレーション機能を大きく改修しておりますのでサポサイトの資料「X-MON3.9.0 アップデート内容」と6章の[前バージョンからの変更点](#)をご確認ください。

基本的な設定と確認については2,3章、その他の使い方は以降に掲載しております。

用語については7.1章[用語集](#)をご確認ください。

## 2 エスカレーション設定の登録

障害通知のエスカレーション設定を X-MON へ登録します。

例として以下の設定内容を登録します。

### 既に X-MON へ登録済みの設定

エスカレーション設定を登録したいホスト・サービスについては適宜読み替えてください。

通知対象ホスト ID(名称)	WEB(ウェブサーバ)、DB(データベース)
通知対象ホストのサービス ID	WEB…CPU、MEMORY、HTTP DB…CPU、DISK、LOGIN
通知対象ホストグループ ID(名称)	ContentGroup (コンテンツサーバグループ)
通知対象ホストグループに含まれるホスト	WEB、DB
通知対象サービスグループ ID(名称)	ResourceService(リソース監視グループ)
通知対象サービスグループに含まれるサービス	WEB…CPU、MEMORY DB…CPU、DISK
通知ユーザ ID(名称)	Operator (オペレータ)
通知ユーザグループ ID(名称)	OperatorGroup (障害通知連絡グループ)
電話通知設定名称	電話通知

### 登録するエスカレーション設定

#### ホストのエスカレーション

「全てのホスト」に対して…

1. 障害が発生や障害ステータスが変化した場合、または障害が復旧した場合にユーザグループ「障害通知連絡グループ」に対して「メール通知」を行う。

ホストグループ「コンテンツサーバグループ」に所属するホストに対して…

1. 障害が発生した場合、「オペレータ」に対して「メール通知」を行う。
2. 障害発生より 5 分経過した時点で復旧していない場合「電話通知」を行い、これ以降復旧していない場合 10 分毎に同じ動作を行う。
3. 障害発生より 20 分経過した時点で復旧していない場合、「サーバの再起動」コマンドを実行する。

## サービスのエスカレーション

「全てのサービス」に対して…

1. 障害が発生や障害ステータスが変化した場合、または障害が復旧した場合にユーザグループ「障害通知連絡グループ」に対して「メール通知」を行う。

サービスグループ「リソース監視グループ」に所属するサービスに対して…

1. 障害が発生した場合、「オペレータ」に対して「メール通知」を行い、これ以降復旧していない場合 30 分毎に同じ動作を行う。

### 2.1 エスカレーション設定画面への遷移

X-MON の「管理者メニュー」より、「エスカレーション設定」リンクを押します。



エスカレーション設定の一覧表示画面に遷移します。



## 2.2 ホストのエスカレーション設定

エスカレーション設定一覧画面で、表示タブが「ホスト設定」であることを確認し、新規作成ボタンを押します。



エスカレーション設定

ホスト設定 | サービス設定

+ 新規作成 x 削除 削除と承認 ホスト一括編集

絞り込み検索

ホスト検索: X-MON

ホストのエスカレーション設定の新規作成画面に遷移します。



ホストエスカレーション設定の作成

キャンセル

エスカレーション名称

死活監視異常

設定方法

☒ 時間指定 ☐ 回数指定

エスカレーション対象

☐ 全てのホスト

☒ 対象を選択

X-MON

既に障害が発生している対象を選択した場合、エスカレーション設定を承認した時点よりエスカレーションが実行されます。

時間別エスカレーション条件

新しい条件の追加 別のエスカレーション設定から条件の取得

条件の追加 -- 選択してください -- 条件の追加

選択済みエスカレーション条件

設定がありません。

詳細設定

通知時間帯: 24時間365日



### 2.2.1 全てのホストを対象とした設定の追加

例で提示した以下のエスカレーション設定を登録します。

「全てのホスト」に対して…

1. 障害が発生や障害ステータスが変化した場合、または障害が復旧した場合にユーザグループ「障害通知連絡グループ」に対して「メール通知」を行う。

エスカレーション名称に任意な名称を入力し、エスカレーション対象は「全てのホスト」を選択します。

次に実行する内容を作成します。

設定方法で「時間指定」を選択し、新しい条件の追加の「条件の追加」ボタンを押します。

時間指定と回数指定の違いについては 7.1 章[用語集](#)をご確認ください。

表示されたウィンドウで以下の内容を入力します。

時間別エスカレーション条件の追加

ステータス: DOWN/UNREACHABLE が 0 分継続

コマンド: 追加

障害通知連絡グループ

再通知: ☐ 繰り返し 120 分毎 ☒ 障害ステータス変更時 ☒ 復旧時

追加

キャンセル

- 障害ステータス DOWN と UNREACHABLE どちらも通知してほしいので「ステータス」は「DOWN/UNREACHABLE」を指定します。
- 障害発生時に通知がほしいので 0 分継続とします。※0 分継続 = 障害発生時
- 実行コマンドは「ユーザグループ通知」の中から「障害通知連絡グループ」を選択します。
- 再度通知をするタイミングは、障害のステータスが変化した時、または復旧時なので「繰り返し」のチェックを外します。

入力できたらウィンドウ下部の「追加」ボタンを押します。

選択済みエスカレーション条件に入力した内容が表示されます。

時間別エスカレーション条件

新しい条件の追加

別のエスカレーション設定から条件の取得



条件の追加

-- 選択してください --

条件の追加

選択済みエスカレーション条件

対象ステータス	通知タイミング			実行内容	有効/無効	操作
	初回	障害継続	ステータス変化			
DOWN UNREACHABLE 復旧	発生	x	○	OperatorGroup(障害通知連絡グループ)	On	<div> <div></div> <div></div> <div></div> </div>

操作項目の  アイコンよりエスカレーション条件の編集、 ボタンで設定した条件の削除が行えます。

「作成と承認」ボタンを押し、エスカレーション設定を保存します。

9

### 2.2.2 特定のホストやグループを対象とした設定の追加

続いて以下のエスカレーション設定を登録します。

ホストグループ「コンテンツサーバグループ」に所属するホストに対して…

1. 障害が発生した場合、「オペレータ」に対して「メール通知」を行う。
2. 障害発生より 5 分経過した時点で復旧していない場合「電話通知」を行い、これ以降復旧していない場合 10 分毎に同じ動作を行う。
3. 障害発生より 20 分経過した時点で復旧していない場合、「サーバの再起動」コマンドを実行する。

エスカレーション対象は「対象を選択」を選択し、入力欄を押し、選択肢からホストグループ「ContentGroup」を選択します。

ホストエスカレーション設定の作成

キャンセル

エスカレーション名称  
ContentGroup用障害通知

設定方法  
☒ 時間指定 ☐ 回数指定

エスカレーション対象  
☐ 全てのホスト  
☒ 対象を選択

X-MON  
 ホストグループ  
 ContentGroup  
 ホスト  
 DB  
 WEB  
 X-MON

設定を確認した時点よりエスカレーションが実行されます。

ホストグループ「ContentGroup」が選択されました。

間違ったホストやグループを選択した場合は、赤い×アイコンを押すことで削除できます。

エスカレーション対象

☐ 全てのホスト  
☒ 対象を選択

ContentGroup X

X-MON

次に実行する内容を作成します。

新しい条件の追加の「条件の追加」ボタンから以下の設定を登録します。

1. 障害が発生した場合、「オペレータ」に対して「メール通知」を行う。

時間別エスカレーション条件の追加	
ステータス:	DOWN/UNREACHABLE が 0 分継続
コマンド:	追加
	オペレータ
再通知:	<input type="checkbox"/> 繰り返し 120 分毎 <input type="checkbox"/> 障害ステータス変更時 <input type="checkbox"/> 復旧時

2. 障害発生より 5 分経過した時点で復旧していない場合「電話通知」を行い、これ以降復旧していない場合 10 分毎に同じ動作を行う。

時間別エスカレーション条件の追加	
ステータス:	DOWN/UNREACHABLE が 5 分継続
コマンド:	追加
	電話通知
再通知:	<input checked="" type="checkbox"/> 繰り返し 10 分毎 <input type="checkbox"/> 障害ステータス変更時 <input type="checkbox"/> 復旧時



3. 障害発生より 20 分経過した時点で復旧していない場合、「サーバの再起動」コマンドを実行する。

時間別エスカレーション条件の追加	
ステータス:	DOWN/UNREACHABLE が 20 分継続
コマンド:	追加
	Linuxサーバ再起動
再通知:	<input type="checkbox"/> 繰り返し 120 分毎 <input type="checkbox"/> 障害ステータス変更時 <input type="checkbox"/> 復旧時

各条件、入力できたらウィンドウ下部の「追加」ボタンを押します。

選択済みエスカレーション条件に入力した内容が表示されます。

選択済みエスカレーション条件									
対象ステータス			通知タイミング			実行内容	有効/無効	操作	
			初回	障害継続	ステータス変化				
DOWN	UNREACHABLE	復旧	発生	x	x	Operator(オペレータ)	On	⚙️	✖️
DOWN	UNREACHABLE	復旧	5分後	10分毎	x	電話通知	On	⚙️	✖️
DOWN	UNREACHABLE	復旧	20分後	x	x	Linuxサーバ再起動	On	⚙️	✖️

操作項目の  アイコンよりエスカレーション条件の編集、 ボタンで設定した条件の削除が行えます。

「作成と承認」ボタンを押し、エスカレーション設定を保存します。

エスカレーション設定のホスト設定に、登録した2つのエスカレーション設定が表示されます。

エスカレーション設定

ホスト設定 | サービス設定

新規作成

削除

削除と承認

エスカレーション対象一括編集

絞り込み検索

ホスト検索: X-MON

対象が検索項目に所属する

検索

ステータス: ☐DOWN ☐UNREACHABLE ☐復旧 ☐フラッピング ☐認知済み ☐ダウンタイム

有効 / 無効: 全て

再通知: ☐繰り返し ☐障害ステータス変更時 ☐復旧時

コマンドタイプ: 全て

ContentGroup用障害通知

DOWN

UNREACHABLE

復旧

発生時

Operator(オペレータ)

DOWN

UNREACHABLE

復旧

発生5分後から10分毎に復旧するまで

電話通知

DOWN

UNREACHABLE

復旧

発生20分後

Linuxサーバ再起動

ホスト障害時メール通知

DOWN

UNREACHABLE

復旧

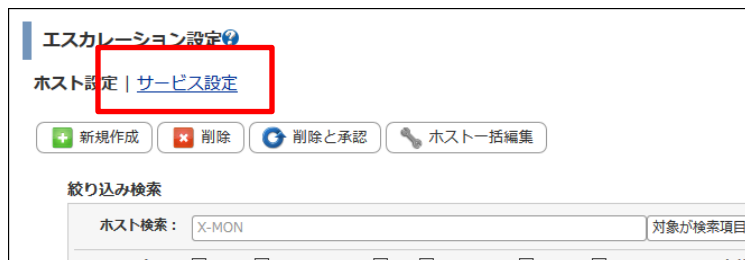
発生時

OperatorGroup(障害通知連絡グループ)

一覧画面の詳しい見方については3章 [エスカレーション設定の確認](#) をご確認ください。

## 2.3 サービスのエスカレーション設定

エスカレーション設定一覧画面に移動した状態で、上部の「サービス設定」リンクを押します。



表示タブが「サービス設定」であることを確認し、新規作成ボタンを押します。



サービスのエスカレーション設定の新規作成画面に遷移します。

サービスエスカレーション設定の作成

キャンセル

エスカレーション名称

死活監視異常

設定方法

☒ 時間指定
 ☐ 回数指定

エスカレーション対象

☐ 全てのサービス
 ☒ 対象を選択

X-MON

既に障害が発生している対象を選択した場合、エスカレーション設定を承認した時点よりエスカレーションが実行されます。

時間別エスカレーション条件

新しい条件の追加

別のエスカレーション設定から条件の取得

条件の追加

-- 選択してください --

条件の追加

選択済みエスカレーション条件

設定がありません。

詳細設定

通知時間帯

24時間365日

### 2.3.1 全てのサービスを対象とした設定の追加

例で提示した以下のエスカレーション設定を登録します。

「全てのサービス」に対して…

1. 障害が発生や障害ステータスが変化した場合、または障害が復旧した場合にユーザグループ「障害通知連絡グループ」に対して「メール通知」を行う。

エスカレーション名称に任意な名称を入力し、エスカレーション対象は「全てのサービス」を選択します。

サービスエスカレーション設定の作成

キャンセル

エスカレーション名称

サービス障害時メール通知

設定方法

☒ 時間指定 ☐ 回数指定

エスカレーション対象

☒ 全てのサービス ☐ 対象を選択

既に障害が発生している対象を選択した場合、エスカレーション設定を承認した時点よりエスカレーションが実行されます。

時間別エスカレーション条件

次に実行する内容を作成します。

新しい条件の追加の「条件の追加」ボタンを押します。

時間別エスカレーション条件

新しい条件の追加 別のエスカレーション設定から条件の取得

条件の追加 -- 選択してください -- 条件の追加

選択済みエスカレーション条件

設定がありません。

表示されたウィンドウで以下の内容を入力します。

時間別エスカレーション条件の追加

ステータス：WARNING/CRITICAL/UNKNOWN が 0 分継続  
コマンド：追加  
障害通知連絡グループ  
再通知：☐ 繰り返し 120 分毎 ☒ 障害ステータス変更時 ☒ 復旧時

追加

キャンセル

- 障害ステータス WARNING、CRITICAL、UNKNOWN いずれも通知してほしいので「ステータス」は「WARNING/CRITICAL/UNKNOWN」を指定します。
- 障害発生時に通知がほしいので 0 分継続とします。※0 分継続＝障害発生時
- 実行コマンドは「ユーザグループ通知」の中から「障害通知連絡グループ」を選択します。
- 再度通知をするタイミングは、障害のステータスが変化した時、または復旧時なので「繰り返し」のチェックを外します。

入力できたらウィンドウ下部の「追加」ボタンを押します。

選択済みエスカレーション条件に入力した内容が表示されます。

時間別エスカレーション条件

新しい条件の追加

別のエスカレーション設定から条件の取得

条件の追加

-- 選択してください --

条件の追加

選択済みエスカレーション条件

対象ステータス	通知タイミング			実行内容	有効/無効	操作
	初回	障害継続	ステータス変化			
<span>WARNING</span> <span>CRITICAL</span> <span>UNKNOWN</span> <span>復旧</span>	発生	x	○	OperatorGroup(障害通知連絡グループ)	On	

操作項目の アイコンよりエスカレーション条件の編集、 ボタンで設定した条件の削除が行えます。

「作成と承認」ボタンを押し、エスカレーション設定を保存します。



### 2.3.2 特定のホストやグループに所属するサービスを対象とした設定の追加

続いて以下のエスカレーション設定を登録します。

サービスグループ「リソース監視グループ」に所属するサービスに対して…

1. 障害が発生した場合、「オペレータ」に対して「メール通知」を行い、これ以降復旧していない場合 30 分毎に同じ動作を行う。

エスカレーション対象は「対象を選択」を選択し、入力欄からサービスグループ「ResourceService」を選択します。

サービスエスカレーション設定の作成

キャンセル

エスカレーション名称  
ResourceServiceグループ用障害時メール通知

設定方法  
☒ 時間指定 ☐ 回数指定

エスカレーション対象  
☐ 全てのサービス  
☒ 対象を選択

X-MON  
 ホストグループ  
 ContentGroup  
 サービスグループ  
 ResourceService  
 ホスト  
 DB  
 WEB  
 X-MON

条件の追加

エスカレーション設定を承認した時点よりエスカレーションが実行されます。

サービスグループ「ResourceService」が選択されました。間違ったサービスやグループを選択した場合は赤い×アイコンを押すことで削除できます。

エスカレーション対象

☐ 全てのサービス  
☒ 対象を選択

ResourceService

X-MON

次に実行する内容を作成します。

新しい条件の追加の「条件の追加」ボタンから以下の設定を登録します。

時間別エスカレーション条件の追加

ステータス: WARNING/CRITICAL/UNKNOWN が 0 分継続  
コマンド: 追加  
オペレータ  
再通知: ☒ 繰り返し 30 分毎 ☐ 障害ステータス変更時 ☐ 復旧時

追加 キャンセル

選択済みエスカレーション条件に入力した内容が表示されます。

選択済みエスカレーション条件						
対象ステータス	通知タイミング			実行内容	有効/無効	操作
	初回	障害継続	ステータス変化			
<span>WARNING</span> <span>CRITICAL</span> <span>UNKNOWN</span> <span>復旧</span>	発生	30分毎	×	<span>Operator(オペレータ)</span>	<span>On</span>	<span>⚙️</span> <span>✖️</span>

「作成と承認」ボタンを押し、エスカレーション設定を保存します。

エスカレーション設定のサービス設定に登録した2つのエスカレーション設定が表示されます。

エスカレーション設定

[ホスト設定](#) | [サービス設定](#)

新規作成 削除 削除と承認 エスカレーション対象一括編集

絞り込み検索

サービス検索: X-MON
対象が検索項目に所属する

検索

ステータス: ☐ WARNING ☐ CRITICAL ☐ UNKNOWN ☐ 復旧 ☐ フラッピング ☐ 認知済み ☐ ダウンタイム
有効 / 無効: 全て

再通知: ☐ 繰り返し ☐ 障害ステータス変更時 ☐ 復旧時
コマンドタイプ: 全て

ResourceServiceグループ用障害時メール通知

⋮ ⚙️ ✖️

WARNING CRITICAL UNKNOWN 復旧
発生時から30分毎に復旧するまで
Operator(オペレータ)

サービス障害時メール通知

⋮ ⚙️ ✖️


WARNING CRITICAL UNKNOWN 復旧
発生時
OperatorGroup(障害通知連絡グループ)

一覧画面の詳しい見方については3章 [エスカレーション設定の確認](#) をご確認ください。

### 3 エスカレーション設定の確認

X-MONの「管理者メニュー」より、「エスカレーション設定」リンクを押します。

この画面ではX-MONへ登録されたエスカレーションを一覧で確認できます。

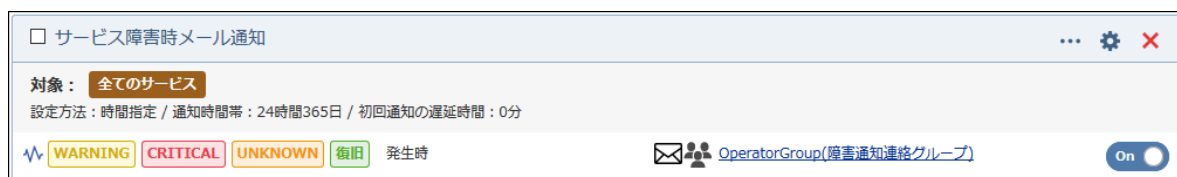
デフォルトではエスカレーション設定の基本的な情報のみを表示しますが、各エスカレーション設定の  アイコンや「詳細をすべて開く」を押すことで、エスカレーション設定の対象ホスト・サービスや、通知時間帯などの情報を表示します。



#### 3.1 エスカレーション設定の確認

以下のサービスエスカレーション設定を例とします。


(  アイコンを押し、詳細情報を開いた状態です。 )



#### ■ 対象ステータスと通知タイミング



エスカレーションのトリガーとなるステータスと、エスカレーションが実行されるタイミングを表示します。無効なステータスは灰色で表示されます。

またステータス横の  アイコンはエスカレーションの再通知設定で「障害ステータス変更時」を有効としている場合青色で表示します。

■ 実行コマンド



エスカレーション設定で実行されるコマンドを表示します。  
リンク表示の場合、押すことでグループに含まれる各通知先の情報を表示します。

■ エスカレーション条件の有効/無効



エスカレーション条件が有効状態か、無効状態かを表示します。  
押すことで有効と無効が切り替わります。(オペレータ権限では出来ません。)

■ 対象



エスカレーション設定の対象のホスト・サービスを表示します。

<b>全てのホスト</b>	<b>ContentGroup</b>	全てのホスト、またはホストグループ ID
<b>X-MON</b>		ホスト ID
<b>全てのサービス</b>	<b>ResourceService</b>	全てのサービス、またはサービスグループ ID
<b>X-MON:PING</b>		ホストのサービス ID

グループを選択している場合、ホスト設定ならばグループに所属するホスト全て、サービスならばグループに所属するサービス全てを対象とします。

■ 設定方法

設定画面で指定した、エスカレーションの実行方法を表示します。

■ 通知時間帯

エスカレーション設定が動く時刻設定を表示します。

■ 初回通知の遅延時間

エスカレーション設定の初回通知までの待機時間を分単位で表示します。

■ 詳細表示



押すことでエスカレーションの対象や、通知時間帯などの情報を開閉します。

■ 編集



3.3 章 [エスカレーション設定の編集](#)をご確認ください。

■ 削除



3.4 章 [エスカレーション設定の削除](#)をご確認ください。

■ 詳細をすべて開く / 詳細をすべて閉じる

一覧に表示されている全てのエスカレーション設定の詳細表示を開閉します。

## 3.2 エスカレーション設定の絞り込み

### 3.2.1 ホスト・サービス検索

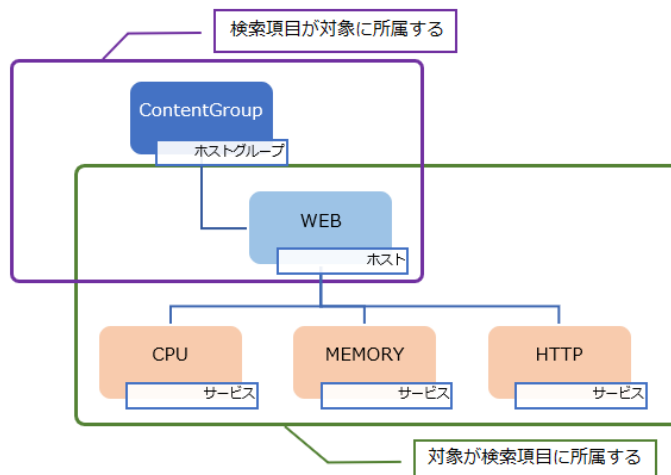
対象を指定して、エスカレーション設定を絞り込んで表示することが出来ます。

絞り込み検索の上部にある入力欄を押し、絞り込みを行いたいホストやサービスを選択して「検索」ボタンを押します。

検索の方法として以下の3パターンが選択できます。

例) ホスト「WEB」をプルダウンから選択した場合

- 対象が検索項目に所属する  
エスカレーション対象にホスト「WEB」や、ホスト「WEB」に所属するサービス ID 「CPU」「MEMORY」「HTTP」が指定されているエスカレーション設定を表示します。
- 検索項目が対象に所属する  
エスカレーション対象にホスト「WEB」や、ホスト「WEB」が所属するホストグループ ID 「ContentGroup」が指定されているエスカレーション設定を表示します。
- 検索項目が対象に指定されている  
エスカレーション対象にホスト「WEB」が指定されているエスカレーション設定を表示します。



### 3.2.2 エスカレーション条件での絞り込み

エスカレーション条件指定して、エスカレーション設定を絞り込んで表示することが出来ます。

以下 4 つの項目でエスカレーション条件を指定することが出来ます。

ステータス:	<input type="checkbox"/> WARNING	<input checked="" type="checkbox"/> CRITICAL	<input checked="" type="checkbox"/> UNKNOWN	<input type="checkbox"/> 復旧	<input type="checkbox"/> フラッピング	<input type="checkbox"/> 認知済み	<input type="checkbox"/> ダウンタイム	有効 / 無効:	<input type="button" value="有効"/>
再通知:	<input type="checkbox"/> 繰り返し	<input checked="" type="checkbox"/> 障害ステータス変更時	<input type="checkbox"/> 復旧時					コマンドタイプ:	<input type="button" value="メール・ユーザグループ通知"/>

#### ■ ステータス

該当のステータスが有効となっているエスカレーション条件が登録されているエスカレーション設定のみを表示します。

チェックボックスをすべて外した状態では、ステータス項目での絞り込みが行われません。

#### ■ 有効/無効

指定された有効または無効状態のエスカレーション条件が登録されているエスカレーション設定のみを表示します。

#### ■ 再通知

該当の再通知項目が有効となっているエスカレーション条件が登録されているエスカレーション設定のみを表示します。

チェックボックスをすべて外した状態では、再通知項目での絞り込みが行われません。

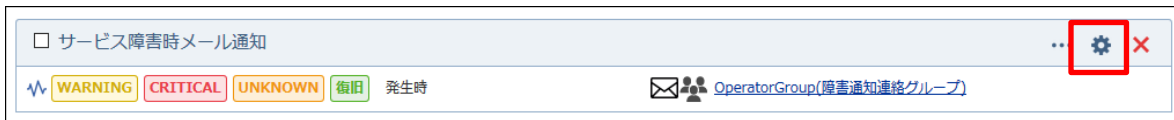
#### ■ コマンドタイプ

該当のコマンドタイプを持つエスカレーションコマンドが登録されているエスカレーション設定のみを表示します。

複数項目を選択した場合、全ての条件に一致するエスカレーション条件を持つエスカレーション設定のみが表示されます。

### 3.3 エスカレーション設定の編集

登録されているエスカレーション設定を編集する場合は、各エスカレーション設定の右上にある歯車アイコンを押します。



変更したい項目を変更したうえで「編集と承認」を押すことでエスカレーション設定を更新することが出来ます。

(オペレータ権限では「編集」のみが可能です。)

変更されたエスカレーション設定は再起動を行うことなく、承認された時点より動作します。

サービスエスカレーション設定の編集

キャンセル

**エスカレーション名称**  
サービス障害時メール通知

**設定方法**  
●時間指定 ○回数指定

**エスカレーション対象**  
●全てのサービス  
○対象を選択  
既に障害が発生している対象を選択した場合、エスカレーション設定を承認した時点よりエスカレーションが実行されます。

**時間別エスカレーション条件**  
新しい条件の追加 | 別のエスカレーション設定から条件の取得  
条件の追加 | -- 選択してください -- | 条件の追加

**選択済みエスカレーション条件**

対象ステータス	通知タイミング			実行内容	有効/無効	操作
	初回	障害継続	ステータス変化			
WARNING CRITICAL UNKNOWN 復旧	発生	×	○	OperatorGroup(障害通知連絡グループ)	On	編集 ×

**詳細設定**  
通知時間帯: 24時間365日

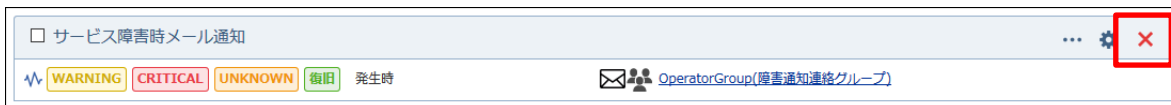
キャンセル 編集 編集と承認



### 3.4 エスカレーション設定の削除

#### 3.4.1 単一のエスカレーションを削除する場合

登録されているエスカレーション設定を単一で削除する場合は、各エスカレーション設定の右上の×ボタンを押します。



確認画面が表示されますので、問題なければ「削除」ボタンを押します。



#### 3.4.2 複数のエスカレーションを削除する場合

登録されているエスカレーション設定を一括で削除する場合は、削除したいエスカレーション名称横のチェックボックスを選択し、「削除」または「削除と承認」ボタンを押します。



単一の場合と同様に確認画面が表示されますので、削除されるエスカレーション名称を確認し、問題が無ければ「削除」ボタンを押してください。

### 3.5 エスカレーション対象一括編集

登録されているエスカレーション設定の対象のみを一括で変更したい場合は、変更したいエスカレーション名称横のチェックボックスを選択し、「エスカレーション対象」ボタンを押します。

例として以下の対象が登録されていないエスカレーション設定にホスト「WEB」のサービス「HTTP」を追加します。

チェックボックスを選択し、「エスカレーション対象一括編集」ボタンを押します。

表示されたウィンドウで選択したエスカレーション設定名称が正しいことを確認し、操作タイプを「対象の追加」を選択します。

入力欄からサービス「WEB:HTTP」を選択します。

選択できましたら、「変更」ボタンを押します。

対象が追加されました。

変更されたエスカレーション設定は再起動を行うことなく、承認された時点より動作します。

## 4 エスカレーション履歴の確認

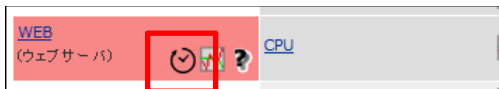
実際にホスト・サービスに障害が発生した状態で、現在どのエスカレーション設定が動き、次に行われるエスカレーションを確認することが出来ます。

例としてホストグループ「ContentGroup」に所属するホスト「WEB」が「DOWN」状態とします。

### 4.1 障害状況の確認

サービス一覧画面を確認します。

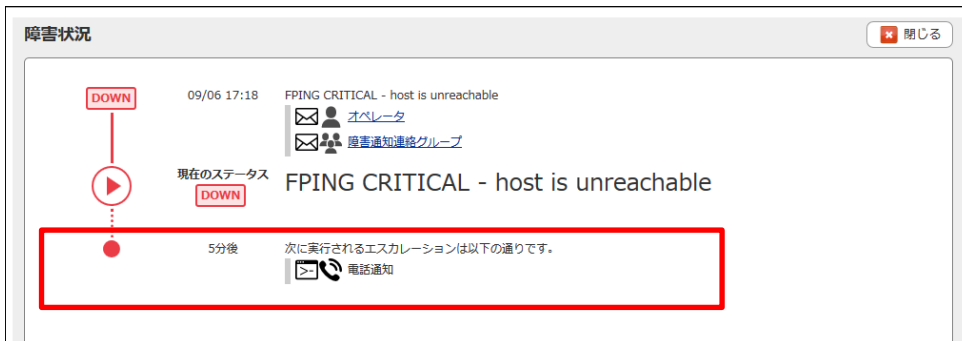
障害状態となっているホスト「WEB」に、時計アイコンが表示されますので押します。



表示されたウィンドウは現在発生している障害の状態を表示し、実行時間と、実行されたエスカレーションが表示されます。

過去のエスカレーション通知を確認する場合は 4.2 章[通知履歴](#)をご確認ください。

また、時間指定のエスカレーション設定を登録した場合のみ、現在のステータスが続いた場合の次に動くエスカレーションが表示されます。

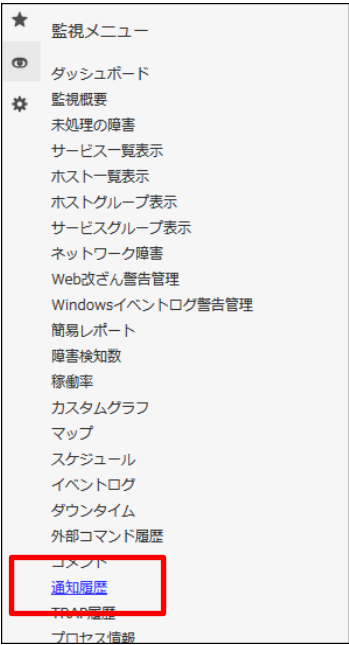


認知済みやダウンタイムを設定することで次に行われるエスカレーション設定の表示が消えます。



4.2 通知履歴

エスカレーションで実行された内容については「監視メニュー」の「通知履歴」からも確認が出来ます。



通知履歴は過去に実行された全てのエスカレーションの通知内容が表示され、同時に通知されたエスカレーションはまとめて表示されます。

通知履歴

監視通知 | [システム通知](#)

絞り込み条件設定

☒ リロードを有効にする

時刻	ホストID	サービスID	タイプ	通知コマンド (通知先)	ステータス情報
2019/09/06 17:18:04	WEB	N/A	DOWN	オペレータへのメール通知(Operator) 障害通知連絡グループへのメール通知(admin,Operator)	FPING CRITICAL - host is unreachable

## 5 監視パッケージへの関連付け

ホストやホストのサービスへ設定したエスカレーション設定を、監視パッケージにした際に引き継ぐことが出来ます。

例としてホスト「WEB」をエスカレーション設定付きの監視パッケージにし、新しいホストへ適用した際に、エスカレーション設定も登録されるようにします。

前提として、現在のサービスエスカレーション設定は以下の画像の通りです。

The screenshot displays four configuration panels for service escalation settings:

- HTTP接続異常時サービスエスカレーション**: Target is WEB:HTTP. Settings include frequency (times specified), notification period (24h/365d), and delay (0min). Status is set to CRITICAL with a 1-time occurrence. Action is 'httpd再起動' (On).
- PING監視異常時サービスエスカレーション**: Target is none. Settings include frequency (times specified), notification period (24h/365d), and delay (0min). Status is set to WARNING with a 120-second recovery interval. Action is '標準のサービス障害時通知' (On).
- ResourceServiceグループ用障害時メール通知**: Target is ResourceService. Settings include frequency (times specified), notification period (24h/365d), and delay (0min). Status is set to WARNING with a 30-second recovery interval. Action is 'Operator(オペレータ)' (On).
- サービス障害時メール通知**: Target is all services. Settings include frequency (times specified), notification period (24h/365d), and delay (0min). Status is set to WARNING. Action is 'OperatorGroup(障害通知連絡グループ)' (On).

### 5.1 ホストの監視パッケージ作成

ホスト「WEB」をパッケージ化します。

ホスト「WEB」の「サービス設定」ボタンを押し、サービス一覧の「監視パッケージの新規作成」ボタンを押します。

The screenshot shows the 'Web Server - Service List' interface. At the top, there are buttons for '戻る' (Back), '新規作成' (New Creation), 'SNMPサービス一括作成' (Batch Creation of SNMP Services), 'snmpwalk実行' (Execute snmpwalk), '削除' (Delete), and '削除と承認' (Delete and Approve). Below these is the '監視パッケージメニュー' (Monitoring Package Menu) section, which includes a dropdown menu '選択して下さい' (Please select) and a button '監視パッケージの新規作成' (Create New Monitoring Package), which is highlighted with a red box. At the bottom, there is a table with columns for 'サービスID' (Service ID), 'エスカレーション' (Escalation), and '操作' (Action). The table lists 'CPU' with '有効' (Valid) and '無効' (Invalid) status, and buttons for '詳細表示' (Show Details) and 'サービスエスカレーション設定' (Service Escalation Settings).

監視パッケージの作成画面に遷移しますので、ID と名称を任意に指定し、「エスカレーション設定の引継ぎ」項目で「行う」を選択し、「作成と承認」ボタンを押します。

ホストから監視パッケージの作成

キャンセル

監視パッケージID(英数字)

web\_package

監視パッケージ名称

WEBサーバ用監視パッケージ

コピー元ホスト

WEB(ウェブサーバ)

X-MONマクロ(置換文字列)への変換処理

行う

行わない

エスカレーション設定の引継ぎ

行う

行わない

監視パッケージが登録されました。

WEBサーバ用監視パッケージ - 監視パッケージサービス一覧

設定を変更し反映しました。

検索

戻る

新規作成

削除

削除と承認

エスカレーション設定

監視パッケージサービスID	エスカレーション		操作
<input type="checkbox"/> CPU	有効 0	無効 0	<div>詳細表示</div>
<input type="checkbox"/> HTTP	有効 1	無効 0	<div>詳細表示</div>
<input type="checkbox"/> MEMORY	有効 0	無効 0	<div>詳細表示</div>

監視パッケージが登録された画面で「エスカレーション設定」ボタンを押します。

WEBサーバ用監視パッケージ - 監視パッケージサービス一覧

設定を変更し反映しました。

検索

戻る 新規作成 削除 削除と承認 エスカレーション設定

監視パッケージサービスID	エスカレーション		操作
<input type="checkbox"/> CPU	有効 0	無効 0	→ 詳細表示
<input type="checkbox"/> HTTP	有効 1	無効 0	→ 詳細表示
<input type="checkbox"/> MEMORY	有効 0	無効 0	→ 詳細表示

監視パッケージのエスカレーション設定画面へ遷移します。

## 5.2 監視パッケージエスカレーション設定の確認

この画面では監視パッケージに関連付けられているエスカレーション設定が確認できます。

監視パッケージエスカレーション設定 / web\_package

戻る 設定の変更

ホスト設定

エスカレーション設定がありません。

ホストの全てのサービス設定

エスカレーション設定がありません。

サービス設定

HTTP接続異常時サービスエスカレーション

対象: HTTP

設定方法: 回数指定 / 通知時間帯: 24時間365日 / 初回通知の遅延時間: 0分

WARNING CRITICAL UNKNOWN 監視 発生時に1回 httpd再起動

※引き継がれるエスカレーション設定は、監視パッケージ元のホストやサービス単体がエスカレーション対象に指定されているものです。

全てのホスト・サービスやグループを対象としたエスカレーション設定は引き継がれません。



## 表示内容

## ■ ホスト設定

監視パッケージを適用した際に、適用したホストを対象とするホストエスカレーション設定を表示します。

## ■ ホストの全てのサービス設定

監視パッケージを適用した際に、適用したホストの全てのサービスを対象とするサービスエスカレーション設定を表示します。

## ■ サービス設定

監視パッケージを適用した際に、個別のサービスを対象とするサービスエスカレーション設定を表示します。

## 5.3 監視パッケージエスカレーション設定の変更

例として監視パッケージに新たなサービス「PING」を追加し、エスカレーション設定を関連付けます。

まず、エスカレーションを関連付けるサービスを監視パッケージに追加します。

**WEBサーバ用監視パッケージ - 監視パッケージサービス一覧**

設定を追加し反映しました。

検索

戻る 新規作成 削除 削除と承認 エスカレーション設定

監視パッケージサービスID	エスカレーション		操作
<input type="checkbox"/> CPU	有効 0	無効 0	→ 詳細表示
<input type="checkbox"/> HTTP	有効 1	無効 0	→ 詳細表示
<input type="checkbox"/> MEMORY	有効 0	無効 0	→ 詳細表示
<input type="checkbox"/> PING	有効 0	無効 0	→ 詳細表示

監視パッケージのエスカレーション設定で追加したサービス「PING」へエスカレーション設定を追加します。

監視パッケージエスカレーション設定画面で「設定の変更」ボタンを押します。

各項目に「エスカレーション設定の追加」が表示されますので、「サービス設定」の「エスカレーション設定の追加」を押します。

表示されたウィンドウでサービス「PING」を選択し、関連付けるエスカレーション設定を選択します。

エスカレーションの設定

対象サービス

PING x

HTTP

CPU

MEMORY

適用するエスカレーション設定

PING監視異常時サービスエスカレーション

設定

キャンセル

選択できたら「設定」ボタンを押します。

一覧画面で追加されたことが確認できます。

監視パッケージエスカレーション設定 / web\_package

戻る

キャンセル

エスカレーション設定が変更されました。編集または編集と承認ボタンで変更を確認できます。

編集

編集と承認

ホスト設定

エスカレーション設定がありません。

エスカレーション設定の追加

ホストの全てのサービス設定

エスカレーション設定がありません。

エスカレーション設定の追加

サービス設定

HTTP接続異常時サービスエスカレーション

対象: HTTP

設定方法: 回数指定 / 通知時間帯: 24時間365日 / 初回通知の遅延時間: 0分

WARNING

CRITICAL

UNKNOWN

復旧

発生時に1回

httpd再起動

PING監視異常時サービスエスカレーション

対象: PING

設定方法: 時間指定 / 通知時間帯: 24時間365日 / 初回通知の遅延時間: 0分

WARNING

CRITICAL

UNKNOWN

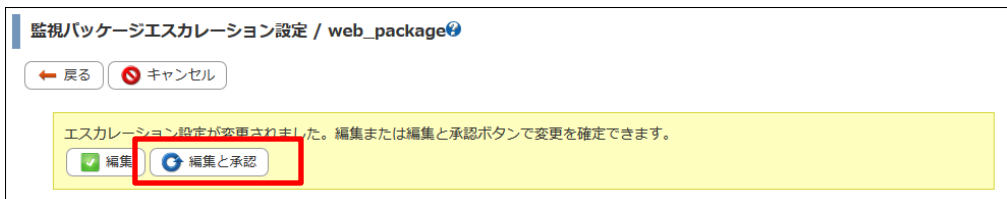
復旧

発生時から120分毎に復旧するまで

標準のサービス障害時通知

34

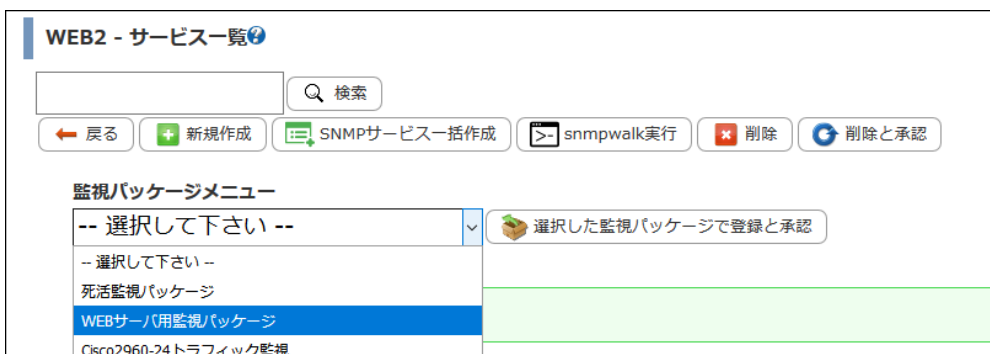
画面上部に「編集」または「編集と承認」ボタンが表示されますので、「編集と承認」を押し、変更を確定します。



#### 5.4 監視パッケージのホストへの適用

新たにホスト「WEB2」を作成し、「WEB2」のサービス一覧へ遷移します。

監視パッケージメニューより先ほど作成した「WEB サーバ用監視パッケージ」を選択し、「選択した監視パッケージで登録と承認」を押します。



サービスとエスカレーション設定が登録されました。



エスカレーション設定画面でも対象に「WEB2」のサービスが登録されていることが確認できます。

**エスカレーション設定**

[ホスト設定](#) | [サービス設定](#)

[戻る](#)
[新規作成](#)
[削除](#)
[削除と承認](#)
[エスカレーション対象一括編集](#)

絞り込み検索

サービス検索: **WEB2** x

X-MON 対象が検索項目に所属する 検索

ステータス: ☐ WARNING ☐ CRITICAL ☐ UNKNOWN ☐ 復旧 ☐ フラッピング ☐ 認知済み ☐ ダウンタイム 有効 / 無効: 全て

再通知: ☐ 繰り返し ☐ 障害ステータス変更時 ☐ 復旧時 コマンドタイプ: 全て

詳細をすべて閉じる

☐ HTTP接続異常時サービスエスカレーション

対象: **WEB2:HTTP** WEB:HTTP

設定方法: 回数指定 / 通知時間帯: 24時間365日 / 初回通知の遅延時間: 0分

☐ WARNING ☒ CRITICAL ☐ UNKNOWN ☐ 復旧 発生時に1回

☐ httpd再起動

On

☐ PING監視異常時サービスエスカレーション

対象: **WEB2:PING**

設定方法: 時間指定 / 通知時間帯: 24時間365日 / 初回通知の遅延時間: 0分

☐ WARNING ☒ CRITICAL ☐ UNKNOWN ☐ 復旧 発生時から120分毎に復旧するまで

☐ 標準のサービス障害時通知

On

グループを対象としたエスカレーション設定へのホスト・サービスの登録は、「管理者メニュー」の「ホストグループ管理」または「サービスグループ管理」より行ってください。

## 6 前バージョンからの変更点

Ver3.8.0 以前のホスト・サービス設定にありました「通知先グループ設定」と「通知の詳細設定」を「エスカレーション設定」に統合しました。

また、エスカレーション設定自体も従来のホスト・サービスへ個別に設定をする方式から、作成したエスカレーション設定へホスト・サービスを関連付ける方式へ変更しました。

それに伴い、エスカレーション設定の登録・編集などによる X-MON の再起動が不要となりました。

### 6.1 アップデート直後のエスカレーション設定について

アップデート直後は、通知先グループ設定やエスカレーション設定を登録していたホスト・サービスごとに変換を行い、新しいエスカレーション設定を登録しています。

エスカレーション動作はアップデート前と同じですが、ホストやサービス数によってはかなりの数となりますので、6.3 章[アップデート直後で数多くのエスカレーション設定が登録されている場合](#)をご参考の上、ホストグループ毎や同じ通知先のエスカレーション設定でまとめることを推奨します。

例)

ホストの通知先グループ設定でステータス「DOWN, UNREACHABLE, UP」時に OperatorGroup へメール通知、エスカレーション設定でステータス「DOWN」時に「警告灯の点灯」設定を登録した場合

アップデート直後のエスカレーション設定画面では以下の表示となります。



※認知済みステータスのエスカレーション設定は全てのホスト・サービスでデフォルト有効となります。

## 6.2 削除された機能について

### 6.2.1 通知先グループ・通知詳細設定

以下の設定内容から通知先グループ設定及び通知詳細設定が無くなり、エスカレーション設定へ統合されました。

- ホスト設定
- サービス設定
- 監視パッケージのサービス設定

上記変更に伴い、以下の設定変更機能からも項目が削除されています。

- ホスト設定一括変更
- サービス設定一括変更
- CSV ホスト・サービス一括設定変更
- syslog 管理

### 6.2.2 イベントログからの通知履歴ログ

3.9.0 へアップデート後からのエスカレーション通知ログは「監視メニュー」の「通知履歴」のみに表示され、イベントログには表示されなくなります。

合わせてレポート機能からもエスカレーション通知ログは表示されなくなります。

### 6.2.3 CSV エスカレーション設定一括変更

エスカレーション機能を一新したため、3.8.0 までのエスカレーション機能に付随する CSV エスカレーション設定一括変更機能が廃止されました。

### 6.3 アップデート直後で数多くのエスカレーション設定が登録されている場合

エスカレーション設定画面は設定を一覧で管理することを目的とするため、アップデート直後数多くの同じエスカレーション設定が登録されている状態では表示速度が低下いたします。この章をご参考の上、エスカレーション設定の集約を推奨します。

この作業では複数のホストの通知設定が一括で追加・削除されますので、事前にバックアップの取得をお願いいたします。また、一時的に通知設定が二重で登録されますので適宜エスカレーション設定の通知を無効とすることを推奨します。

#### 6.3.1 ホストグループの作成

通知先をまとめたいホストを 1 つのホストグループにまとめます、

「管理者メニュー」の「ホスト・サービス管理」の「ホストグループ管理」で以下の画像の様にグループを作成します。

ID や名称、グループに含めるホストは適宜変更してください。

#### ホストグループの作成

キャンセル

ホストグループID(英数字)

AlertGroup

ホストグループ名称

障害時通知メール通知ホストグループ

グループに含めるホスト

HOST001

HOST002

HOST003

HOST004

↑(選択)

↓(外す)

--- H ---



### 6.3.2 エスカレーション対象の集約

次に、作成したホストグループに含まれる任意のホストから「ホストエスカレーション設定」ボタンを押します。



表示された画面ではホストで絞り込みが行われています。



表示されているエスカレーション設定のチェックボックスを選択し、「エスカレーション対象一括編集」ボタンを押します。



操作タイプを「対象の追加」とし、先ほど作成したホストグループを追加、「変更」ボタンを押します。

**エスカレーション対象一括編集**

エスカレーション設定

◦ ホスト [HOST001] の通知・エスカレーション設定

**操作タイプ**

☒ 対象の追加 ☐ 対象の削除

**対象の選択**

AlertGroup x

X-MON

変更 キャンセル

対象にホストグループが追加されました。

**エスカレーション設定**

ホスト設定 | サービス設定

戻る 新規作成 削除 削除と承認 エスカレーション対象一括編集

**絞り込み検索**

ホスト検索: HOST001 x

X-MON 対象が検索項目に所属する 検索

ステータス: ☐ DOWN ☐ UNREACHABLE ☐ 復旧 ☐ フラッピング ☐ 認知済み ☐ ダウンタイム 有効 / 無効: 全て

再通知: ☐ 繰り返し ☐ 障害ステータス変更時 ☐ 復旧時 コマンドタイプ: 全て

詳細をすべて開く

☐ ホスト [HOST001] の通知・エスカレーション設定

対象: HOST001 AlertGroup

設定方法: 回数指定 通知時間帯: 24時間 365日 / 初回通知の遅延時間: 0分

DOWN UNREACHABLE 復旧 発生時から120分毎に復旧するまで OperatorGroup(障害通知連絡グループ) On

フラッピング 認知済み ダウンタイム 開始 / 終了 OperatorGroup(障害通知連絡グループ) On

また、対象ホスト「HOST001」はホストグループ「AlertGroup」に含まれていますので、対象から削除します。

再度同じエスカレーション設定のチェックボックスを選択し、「エスカレーション対象一括編集」ボタンを押します。

表示された画面で操作タイプを「対象の削除」とし、ホスト「HOST001」を選択、「変更」ボタンを押します。

**エスカレーション対象一括編集**

エスカレーション設定

◦ ホスト [HOST001] の通知・エスカレーション設定

**操作タイプ**

☐ 対象の追加 ☒ 対象の削除

**対象の選択**

HOST001 x

X-MON

変更 キャンセル

一覧画面に戻り、絞り込み検索にてホストはそのまま「検索項目が対象に所属する」を選択し、「検索」を行います。

**エスカレーション設定**

ホスト設定 | サービス設定

← 戻る + 新規作成 ✖ 削除 ⌂ 削除と承認 🔗 エスカレーション対象一括編集

**絞り込み検索**

ホスト検索: HOST001 x

X-MON

検索項目が対象に所属する ▼ 検索

ステータス: ☐ DOWN ☐ UNREACHABLE ☐ 復旧 ☐ フラッピング ☐ 認知済み ☐ ダウンタイム 有効 / 無効: 全て ▼

ホストが所属するエスカレーション設定として表示されます。

**エスカレーション設定**

ホスト設定 | サービス設定

← 戻る + 新規作成 ✖ 削除 ⌂ 削除と承認 🔗 エスカレーション対象一括編集

**絞り込み検索**

ホスト検索: HOST001 x

X-MON

検索項目が対象に所属する ▼ 検索

ステータス: ☐ DOWN ☐ UNREACHABLE ☐ 復旧 ☐ フラッピング ☐ 認知済み ☐ ダウンタイム 有効 / 無効: 全て ▼

再通知: ☐ 繰り返し ☐ 障害ステータス変更時 ☐ 復旧時

コマンドタイプ: 全て ▼

詳細をすべて開く

☐ ホスト [HOST001] の通知・エスカレーション設定

対象: AlertGroup

設定方法: 回数指定 / 通知時 24時間365日 / 初回通知の遅延時間: 0分

DOWN UNREACHABLE 復旧 発生時から120分毎に復旧するまで

フラッピング 認知済み ダウンタイム 開始 / 終了

OperatorGroup(障害通知連絡グループ) On

OperatorGroup(障害通知連絡グループ) On

### 6.3.3 不要なエスカレーション設定の削除

ホストグループに含まれるホスト全てにエスカレーション設定が登録されましたので、二重で登録されている不要なエスカレーションを削除します。

絞り込み検索で検索項目よりホストグループ「AlertGroup」を選択し、「対象が検索項目に所属する」として「検索」ボタンを押します。

ホストグループに所属するホストごとのエスカレーション設定が全て表示されますので、単体ホストを対象とするエスカレーション設定全てにチェックボックスを選択し、「削除と承認」ボタンを押します。

エスカレーション設定

ホスト設定 | サービス設定

← 戻る + 新規作成 ✖ 削除 **削除と承認** 🔧 エスカレーション対象一括編集

絞り込み検索

ホスト検索: **AlertGroup** X-MON 対象が検索項目に所属する 検索

ステータス: ☐ DOWN ☐ UNREACHABLE ☐ 復旧 ☐ フラッピング ☐ 認知済み ☐ ダウンタイム 有効 / 無効: 全て

再通知: ☐ 繰り返し ☐ 障害ステータス変更時 ☐ 復旧時 コマンドタイプ: 全て

詳細をすべて開じる

☐ ホスト [HOST001] の通知・エスカレーション設定 ... ⚙️ ✖

対象: **AlertGroup**  
設定方法: 回数指定 / 通知時間帯: 24時間365日 / 初回通知の遅延時間: 0分

🔊 DOWN UNREACHABLE 復旧 発生時から120分毎に復旧するまで 📧 OperatorGroup(障害通知連絡グループ) On

🔄 フラッピング 認知済み ダウンタイム 開始 / 終了 📧 OperatorGroup(障害通知連絡グループ) On

☐ ホスト [HOST002] の通知・エスカレーション設定 ... ⚙️ ✖

対象: **HOST002**  
設定方法: 回数指定 / 通知時間帯: 24時間365日 / 初回通知の遅延時間: 0分

🔊 DOWN UNREACHABLE 復旧 発生時から120分毎に復旧するまで 📧 OperatorGroup(障害通知連絡グループ) On

🔄 フラッピング 認知済み ダウンタイム 開始 / 終了 📧 OperatorGroup(障害通知連絡グループ) On

☐ ホスト [HOST003] の通知・エスカレーション設定 ... ⚙️ ✖

対象: **HOST003**  
設定方法: 回数指定 / 通知時間帯: 24時間365日 / 初回通知の遅延時間: 0分

削除の確認画面が表示されますので、問題が無ければ「削除」ボタンを押します。

エスカレーションの削除

○ ホスト [HOST006] の通知・エスカレーション設定

○ ホスト [HOST007] の通知・エスカレーション設定

○ ホスト [HOST008] の通知・エスカレーション設定

○ ホスト [HOST009] の通知・エスカレーション設定

○ ホスト [HOST010] の通知・エスカレーション設定

○ ホスト [HOST011] の通知・エスカレーション設定

○ ホスト [HOST012] の通知・エスカレーション設定

○ ホスト [HOST013] の通知・エスカレーション設定

○ ホスト [HOST014] の通知・エスカレーション設定

○ ホスト [HOST015] の通知・エスカレーション設定

○ ホスト [HOST016] の通知・エスカレーション設定

○ ホスト [HOST017] の通知・エスカレーション設定

○ ホスト [HOST018] の通知・エスカレーション設定

○ ホスト [HOST019] の通知・エスカレーション設定

現在18/18件目の処理を実行しています。

100%/100%

削除

キャンセル

これでホストグループに所属する全てのホストの障害を 1 つのエスカレーション設定で管理できるようになりました。

エスカレーション設定

ホスト設定 | サービス設定

戻る

新規作成

削除

削除と承認

エスカレーション対象一括編集

絞り込み検索

ホスト検索: AlertGroup

X-MON

対象が検索項目に所属する

検索

ステータス: ☐DOWN ☐UNREACHABLE ☐復旧 ☐フラッピング ☐認知済み ☐ダウンタイム

有効 / 無効: 全て

再通知: ☐繰り返し ☐障害ステータス変更時 ☐復旧時

コマンドタイプ: 全て

詳細をすべて開じる

☐ ホスト [HOST001] の通知・エスカレーション設定

対象: AlertGroup

設定方法: 回数指定 / 通知時間帯: 24時間365日 / 初回通知の遅延時間: 0分

DOWN

UNREACHABLE

復旧

発生時から120分毎に復旧するまで

OperatorGroup(障害通知連絡グループ)

On

フラッピング

認知済み

ダウンタイム

開始 / 終了

OperatorGroup(障害通知連絡グループ)

On

設定完了後、エスカレーションの通知を無効にしていた場合は適宜元に戻してください。

44

## 7 付録

---

### 7.1 用語集

#### ■ ホストのエスカレーション

ホストの障害時に通知を行う設定です。

例) ホストステータスが「DOWN」時に指定されたユーザへ「メール通知」を行う。

#### ■ サービスのエスカレーション

サービスの障害時に通知を行う設定です。

例) サービスステータスが「WARNING」時に「警告灯を点灯」する。

#### ■ 時間指定

障害状態が何分継続したかによって通知を行う方法です。

障害発生を検知した時刻より指定された時間の間にステータスが変わらなかった場合に通知が動くため、ホストやサービスごとの監視間隔が異なる場合でも同じエスカレーション設定を動作させることができます。

#### ■ 回数指定

障害状態となってから監視のチェックが何回動作したかによって通知を行う方法です。

(ver3.8.0 以前のエスカレーション設定です)

障害発生時と次のチェック時の2回のみ動かしたいなど、繰り返し回数を指定したエスカレーションを動作させることができます。